

# 平成 17 年度陸域環境研究センター施設利用状況

(平成 18 年 3 月 31 日現在)

	教育関係	研究関係
学群	地形プロセス学・同実験 (自然科学類) 20 名× 15 回	卒業研究利用者 自然科学類 7 名
	地球科学実験Ⅲ (自然科学類) 33 名× 2 回	
	気候学・気象学実験 (自然科学類) 30 名× 10 回	
	水文学実験 (自然科学類) 23 名× 3 回	
	水資源利用学実験 (生物資源学類) 10 名× 5 回	
	計測制御工学実験 (生物資源学類) 35 名× 1 回	
	合計 (延) 数 1,070 名	合計 (延) 数 7 名
大学院	実習 (環境科学研究科) 21 名× 1 回	生命環境科学研究科 10 名
	地域調査法 (教育研究科) 9 名× 10 回	生命環境科学研究科 (実験室のみ) 1 名
		環境科学研究科 3 名
		人間総合科学研究所 (体育科学専攻) 1 名
	合計 (延) 数 111 名	合計 (延) 数 15 名
教職員	学生の指導 59 名	陸域環境研究センター 9 名
		生命環境科学研究科 (地球環境科学専攻) 4 名
		環境科学研究科 4 名
	合計 (延) 数 59 名	合計 (延) 数 17 名
他大学等	地理情報・環境教育研究野外調査 A (立正大学地球環境学部地理学科) 2 名× 1 回	千葉大学環境リモートセンシング研究センター 1 名
	IHP トレーニングコース (名古屋大学) 20 名× 1 回	名古屋大学地球水循環研究センター 1 名
		立正大学地球環境科学研究科 1 名
		国立科学博物館 1 名
		産業技術総合研究所 1 名
		NHK エデュケーション 4 名
	合計 (延) 数 22 名	合計 (延) 数 9 名
その他	研究会・年次報告会 5 回 参加者	177 名
	セミナー 6 回 参加者	123 名
	ワークショップ 2 回 参加者	100 名 (国際・国内 各 1 回)
	機器の利用	6 名
	データの利用	7 名
	見学者	
	国内	410 名
国外	12 名	
	利用者合計	2,145 名

## 主 な 行 事

年 月 日	記 事
2005. 4. 1	藪崎 志穂研究機関研究員採用
2005. 4. 22	茨城高校見学 (46名)
2005. 4. 23	科学技術週間・センターの一般公開
2005. 5. 26	茨城県立竹園高校見学 (180名)
2005. 6. 1	関口 智寛講師着任
2005. 6. 8	山形県立米沢中央高校見学 (35名)
2005. 6. 16	吉村 恵美子研究支援推進員採用
2005. 6. 28	平成 17 年度第 1 回運営委員会
2005. 6. 30	目代 邦康準研究員退職
2005. 7. 1	八反地 剛準研究員着任
2005. 7. 19	宮城県立宮崎北高校見学 (45名)
2005. 7. 20	圃場整備 (草刈)
2005. 8. 4	自然学類体験学習 (38名)
2005. 8. 9	NHK 教育番組「NHK 高校講座 地学」撮影
2005. 10. 14	高崎福祉大学高崎高校見学 (78名)
2005. 10. 26	鳥取県立鳥取東高校 (10名)
2005. 11	「陸域環境研究センター報告第 6 号」発行
2005. 11. 10	栃木県立栃木高校見学 (45名)
2005. 11. 21	圃場整備 (草刈)
2005. 12. 1	吉田 瑞穂研究支援推進員採用
2005. 12. 2	常盤大学高校見学 (40名)
2005. 12. 16	陸域環境研究センター国際ワークショップ開催
2005. 12. 19	陸域環境研究センター国内ワークショップ開催
2006. 1. 14	筑波グランドフェスティバル見学 (10名)
2006. 1. 16-19	飯島技術専門職員ショベルローダー講習会受講
2006. 1. 16	平成 17 年度第 2 回運営委員会
2006. 1. 19	中国科学院研究者見学 (8名)
2006. 1. 27	大型水路天井走行電車定期点検実施
2006. 2. 9	圃場観測機器の定期点検実施
2006. 3	実験室空調機更新
2006. 3. 1-3. 2	超音波風向風速計の定期点検実施
2006. 3. 7	IHP トレーニングコース (名古屋大学主催、20名)
2006. 3. 3	平成 17 年度陸域環境研究センター年次研究報告会
2006. 3. 3	及川武久教授退職記念会

## 陸域環境研究センター 熱収支・水収支観測資料について

下記の表は学内外の利用希望者に対する利用できるデータの種類、収録期間、メディアの種類、利用方法を示す。利用希望者は、データ利用願い (<http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/new/use/use.html#4>) を記入の上センター宛提出されたい。

データの種類	収録期間	メディア	利用方法
1時間ごとの全測定項目および、日平値（または日積算）値・日最小値・日最大値が入った月ごとのアスキーファイル	1981年/11月～ 現在	陸域環境研究センターのホームページ	陸域環境研究センターのホームページ ( <a href="http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/">http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/</a> ) の TERC 熱収支・水収支観測データベース ( <a href="http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/Japanese/database.html">http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/Japanese/database.html</a> ) にアクセスする。 ●月ごとのデータは、( <a href="http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/monthly/">http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/monthly/</a> ) に保存されており、ファイル名のつけ方は次の通りである。Dyy-mm.DAT, yyは年, mmは月を表している。例えば、2002年4月のデータは、D02-04.DATである。 ●年ごとに圧縮されたデータは、( <a href="http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/yearly/">http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/yearly/</a> ) に保存されている。圧縮形式はlzh形式またはtar + gzip形式である。
上記データのプリントアウト	1983年/7月～ 2003年/3月	冊子体 (3枚/1日) 一冊/3ヶ月	コピーをとるか (*), 写し取り, 利用する。または貸し出しを行うので (一週間まで) 持ち帰って利用する。
測定項目ごとの1時間ごとのプリントアウト	1989年/1月～ 利用時の1-2年前	冊子体 1枚/1月	同上
各項目の日平均値のプリントアウト	1989年/1月～ 利用時の1-2年前	冊子体 (センター報告) 1ページ/1年	同上
各項目のアナログ出力を記録したチャート	1980年/1月～ 2003年/3月	チャート 一冊/1月	コピーをとるか (*) センター内で読み取る。

(\*) センターのコピー機を使う場合、学生用コピーカードを使用し、何枚使用したかを記録用ノートに記入する（教職員の場合は本人あてに、学生の場合は指導教員あてに利用額が後ほどセンターから請求される）。

## 筑波大学陸域環境研究センター出版物の 著作権について

1. 筑波大学陸域環境研究センター報告等に掲載されたすべての報文等（以下、報文等と称する）の著作権は筑波大学陸域環境研究センター（以下、本センターと称する）に帰属する。
2. 本センターの出版物に掲載された報文等の全部あるいは一部を他の出版物に転載、翻訳、あるいはその他のために利用する場合には、本センターに文書による利用許諾を得た上で、出所明示して利用しなければならない。
3. ただし、学説の展開、および教育目的の著作の中で、本センターの出版物に掲載された報文等の一部を出所明示の上で引用する場合には、前項にかかわらず利用許諾の申請は不要とする。

### 1993年以前の「水理実験センター報告」掲載記事に関する 著作権委譲のお願い

近年、国内外の多くの学術雑誌が電子化・ウェブ公開化されてきており、その重要性が高まってきております。筑波大学陸域環境研究センター（以下、センターと呼ぶ）でも、研究成果公表のために発行してきた紀要「陸域環境研究センター報告」や、前身である水理実験センター時代の紀要「水理実験センター報告」の電子化と、センターホームページ（<http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/>）での公開を進めてきました（目代・塩澤，2005）。

1994年発行の「水理実験センター報告」第19号以降、掲載記事の著作権がセンターに帰属することが明示されておりますが、1993年以前のものについては著作権の記載がありません。そのため、個々の著者に連絡を取り承諾を得てきましたが、すべての著者からの承諾を得るには至っておりません。

そこで、ここに1993年以前の「水理実験センター報告」掲載記事のすべての著者に対し、当該記事の著作権をセンターに委譲されることをお願いする次第です。ただし、電子化・ウェブ公開を希望されない記事については、お知らせ頂ければ対象から除外致します。本件に関するご質問やご意見がある場合は、センター事務宛にご連絡下さい。お申し出期間は**2007年2月末日まで**と致します。お申し出が無い場合はご了承頂けたものとして、1993年以前の記事に関しても電子化・ウェブ公開の対象とさせていただきます。

今回の著作権委譲は、センター出版物の電子化・ウェブ公開化を行うことにより、研究の便宜を図り、論文の価値を高めることが目的であり、著者の再利用を妨げるものではありません。

何卒、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

#### 「参考文献」

目代邦康・塩澤暁子（2005）：水理実験センター報告，陸域環境研究センター報告のWWWでの公開について．筑波大学陸域環境研究センター報告，**6**，89-91．

連絡先：筑波大学陸域環境研究センター事務室

電話：029-853-2532

FAX：029-853-2530

e-mail：jimu@suiri.tsukuba.ac.jp